

碧海



碧海【HEKIKAI】

作品No.3192

■使用素材／アバロニ貝

テンプル・レンズ スタンド

■ベースフレーム／ETOS13(ブラック／ベージュ)

深く広い海に育まれたアバロニ貝。
まるで海の色を映しとったかのように繊細に光り輝く。
ああ、なんと言う多彩さか。
自然の神秘を感じ 母なる海の偉大さを思う。



志摩【SHIMA】

作品No.3190

■使用素材／ブルーラメ・パール粉

■ベースフレーム／AU-327(K14W/K18BG)

平地のほとんどない志摩は 古くから海産物で有名な地で海岸線もリアス式で
風光明媚なところが多く 中でも英虞湾は 真珠養殖が有名。
紺碧の海と真珠といえば 間違いない。

西陣



西陣【NISHIJIN】
作品No.3189
■使用素材／金銀ラメ
■ベースフレーム／AU-328(K14W)

応仁の乱で 西軍が本陣を置いた京都北西部に栄えた京織物が西陣織と呼ばれている。
着物の正装は 染めの着物(友禅)に織りの帯(西陣の錦)と言われているくらいで
最も品格が高いとされている。
錦というと金糸銀糸のイメージが強く 和服にあうメガネの一つとして。

白神



白神【SHIRAKAMI】

作品No.3180

■使用素材／葉脈

■ベースフレーム／AU-288(K14W)

世界遺産の白神山地は人の手付かすのブナの原生林。
山地と言えども山より森林のイメージ。
特に景観が良いということもなく地味ではあるが 残していくべき大自然だ。
自然がはぐくむ木の葉の葉脈は 自然界のレース模様と言える。

光琳



光琳【KOURIN】

作品No.3141

■使用素材／蒔絵 光琳波

■ベースフレーム／EDGE042 (BK)

江戸時代中期『琳派』という画派の始祖である尾形光琳。
明快で装飾的な『光琳模様』という言葉も生み出し 多岐にわたる作品を残していますが
その中で『紅白梅図屏風』に描かれている水流紋は光琳波と呼ばれてる。
その光琳波を蒔絵にして自由に楽しく。

醍醐



醍醐【DAIGO】

作品No.3120

■使用素材／桜花弁螺鈿（貝）・ピンクラメ

■ベースフレーム／AU-149（K18ダイヤカット）

世界遺産の京都市伏見区の醍醐寺は豊臣秀吉によって『醍醐の花見』が行われた地で『花の醍醐』といわれるくらい咲く桜の種類も多く、それゆえ花見時期も長い。桜の名所の多い京都でも屈指の名所です。人それぞれ思いいれは異なりますが、多くの日本人は桜が好きです。

杜若



杜若【KAKITSUBATA】

作品No.3110

■手法／砂打ち・ファセット

■ベースフレーム／NK 21-04

高層湿原という厳しい自然条件の中 ひっそりと短い夏の間精一杯に咲く。
あやめや菖蒲のような派手さはないが そんな杜若(かきつばた)が好きだ。

露草螢



露草螢【TSUYUKUSAHOTARU】

作品No.3106

■使用素材 / スワロフスキー

■手法 / 砂打ち

■ベースフレーム / NK 21-03

子供の頃、どこの川原にもいた螢。

夏の短い夜を決して急がず、あわてず、淡く光ながら ゆったりと揺らめき飛ぶ。

まるで夜を楽しむかのように…。

ハートライバル



ハートライバル【HEARTTRIBAL】

作品No.3101

■手法／砂打ち・ファセット

■ベースフレーム／NK 21-04

人の心には やさしさと棘が同居している。
小さくてもいいからやさしさを大切にしたい。
そんな小さなハートとトライバルの模様。

奥飛驒



奥飛驒【OKUHIDA】
作品No.3090
■使用素材／金銀メッキ葉脈
■ベースフレーム／L 88-0050

厳冬期の奥飛驒の黎明時。
溪流から立ち上る水蒸気は瞬時に凍りダイヤモンドダストとなり、
谷間に届いた日の出の光を受けキラキラと輝く。
落ち葉は銀色に凍て付き木々に残った枯葉の霧氷は朝日を受けて黄金色に光り輝く。

丹後



丹後【TANGO】
作品No.3084
■使用素材／丹後縮緬
■ベースフレーム／フレア 869

京丹後縮緬は 西陣より技術を導入し しぼが細かい為 友禅染や小紋の生地として発展しました。
多彩な色使いや友禅模様の明るさ楽しさを…。

乾陀羅



乾陀羅【GANDĀLA】

作品No,3083

■使用素材／蒔絵 梵字・アラベスク

■ベースフレーム／マグネティック 2way 102

インドのさらに西方のガンダーラは仏教の聖地。

ペルシャと接し異文化との交流の中で仏教美術が生まれ、イスラム等の影響でアラベスクも広がっていきました。

サンスクリット(梵字)は 仏法の神聖な文字として古代インドの由来で

中央アジアにて成立し仏教とともに中国を経由して日本に伝来しました。

一字一字が仏を象徴し 身に着けることで神仏の加護を受けられるといわれていて

生まれ年の十二支によって それぞれ梵字は変わります。

友禪



友禪【YUZEN】

作品No.3067

■使用素材／友禪紙

■ベースフレーム／ETOS13

元々、布に手書きの染色をしたものを友禪と呼び、型染めやプリントも友禪と呼ぶようになってきている日本の代表的な染色法で、世界の染色の中でも類を見ないほどの多彩な色を使い『友禪模様』と呼ばれる簡略化された文様を描き出すのが特徴。その色使いや模様を紙に表現したものが友禪紙で、布とは異なる装飾としての使い方が広がり、伝統美が薫る、繊細で風雅な小物の創作にも良く使われている。

糸宝石（白）



糸宝石（白）【ITOHOUSEKI】

作品No.3052

■使用素材／白レース

■ベースフレーム／AU-285 (K18D)

レースは 中世ヨーロッパで『糸の宝石』と呼ばれるほど珍重されました。
日本での認識は低く 広義で『編み物』の中の『レース編み』として一まとめに表現されていますが
発祥地のヨーロッパでは編み方によって細分化されて発達していきました。
また高額品だった為 外貨の流出を防ぐ目的で王侯、貴族以外は使用を禁止された時期もあります。
そんな複雑で繊細なレースは、白が美しい。

流星



流星【RYUSEI】

作品No.3051

■使用素材／ファセット・砂打ち・スワロフスキー

■ベースフレーム／L-88-0050

夜中、外へ出てみると昨日から降り続いた雪は いつの間にか止み 漆黒の夜空に満天の星。
積雪が音を吸収し星の煌めきが聞こえそう。
あっ!!南の空に流れ星が一つ二つ。

糸宝石（黒）



糸宝石（黒）【ITOHOUSEKI】
作品No.3033
■使用素材／黒レース
■ベースフレーム／TRACTION

レースは 中世ヨーロッパで『糸の宝石』と呼ばれるほど珍重されました。
日本での認識は低く 広義で『編み物』の中の『レース編み』として一まとめに表現されていますが
発祥地のヨーロッパでは編み方によって細分化されて発達していきました。
また高額品だった為 外貨の流出を防ぐ目的で王侯、貴族以外は使用を禁止された時期もあります。
そんな複雑で繊細な黒レースをあしらってみました。

白群



白群【BYAKUGUN】

作品No.3026

■使用素材／ブルーラメ

■手法／砂打ち

■ベースフレーム／AU-149 (K14W)

吹雪が止んだ朝、八方尾根最上部。雪洞から這い出してみると
しばらくたずんでいるとガスの切れ目から太陽の光が漏れ
瞬く間にガスが流れて一面の雪尾根が『白群』に輝く。
雪の中の淡い淡い青色は 青空の粒子を吸収しているようだ。

ガスの中のホワイトアウトの世界。

光明



光明【KOU MYOU】

作品No.3015

■使用素材／豹紋転写純金箔・スワロフスキー

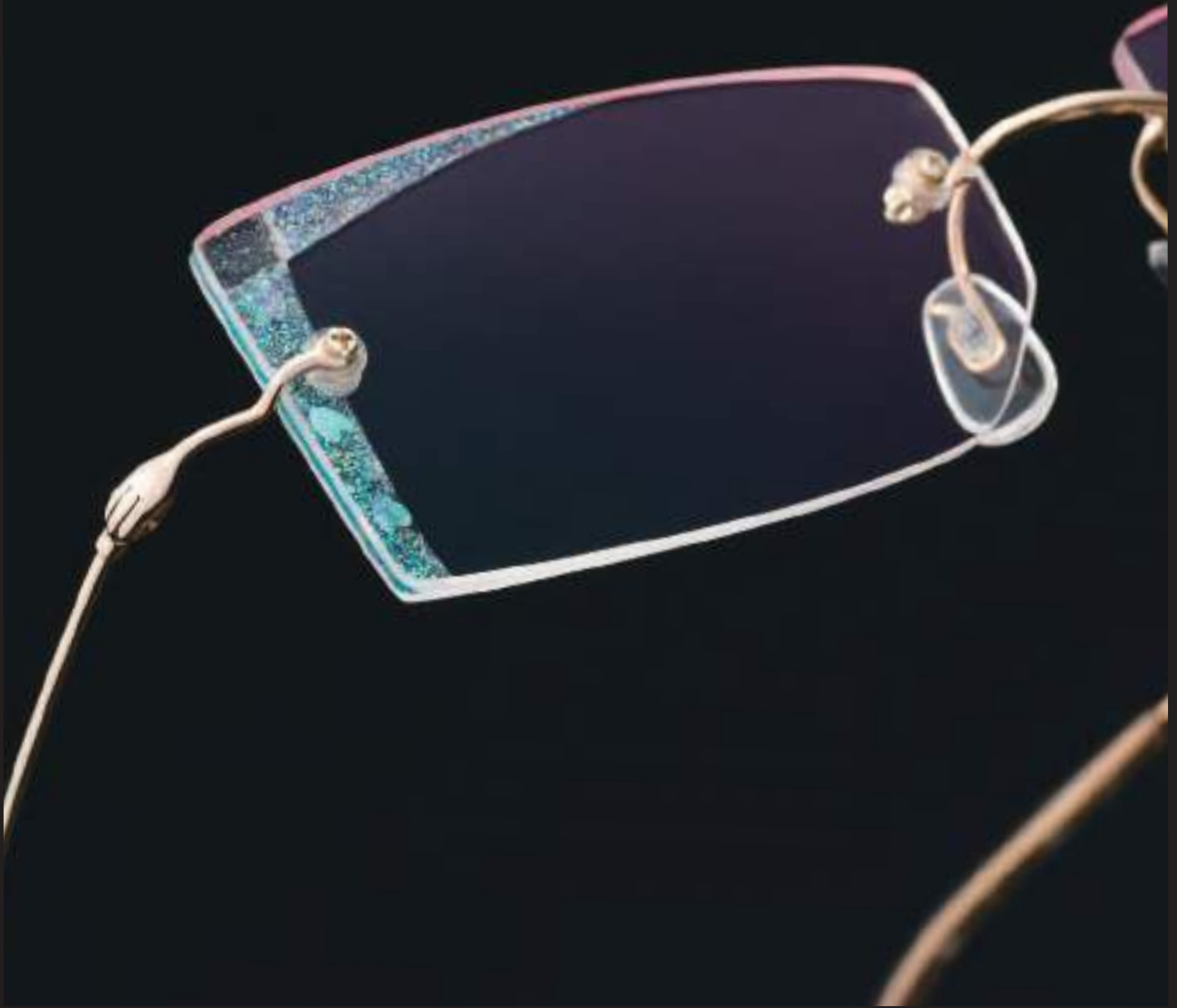
■ベースフレーム／AU-149(K18)

純金箔の発祥はわかりませんが 古代エジプトやインカ帝国などの古代文明遺跡から発掘されており 古代文明では 神『太陽』や仏『浄土』よりの光明として使われていたと考えられている。

金箔は人類の発展とともに『ヨーロッパ美術文化』として発展する方向とインドから東洋へと伝わって『仏教文化』として発展する方向に分かれた。

また豹柄は 衣料品では 野性味、セクシー等のイメージですが 自然界の豹紋は 植物、爬虫類、魚類、蝶等に 多く模様として進化していき その目的は 保護色として あるいは有毒であることのアピールであったり、 威嚇、警告色であったりいろいろです。あなたのメガネに使ったら はたしてその意味は…。

水面桜（春）



水面桜【MINAMO ZAKURA】

作品No.3013

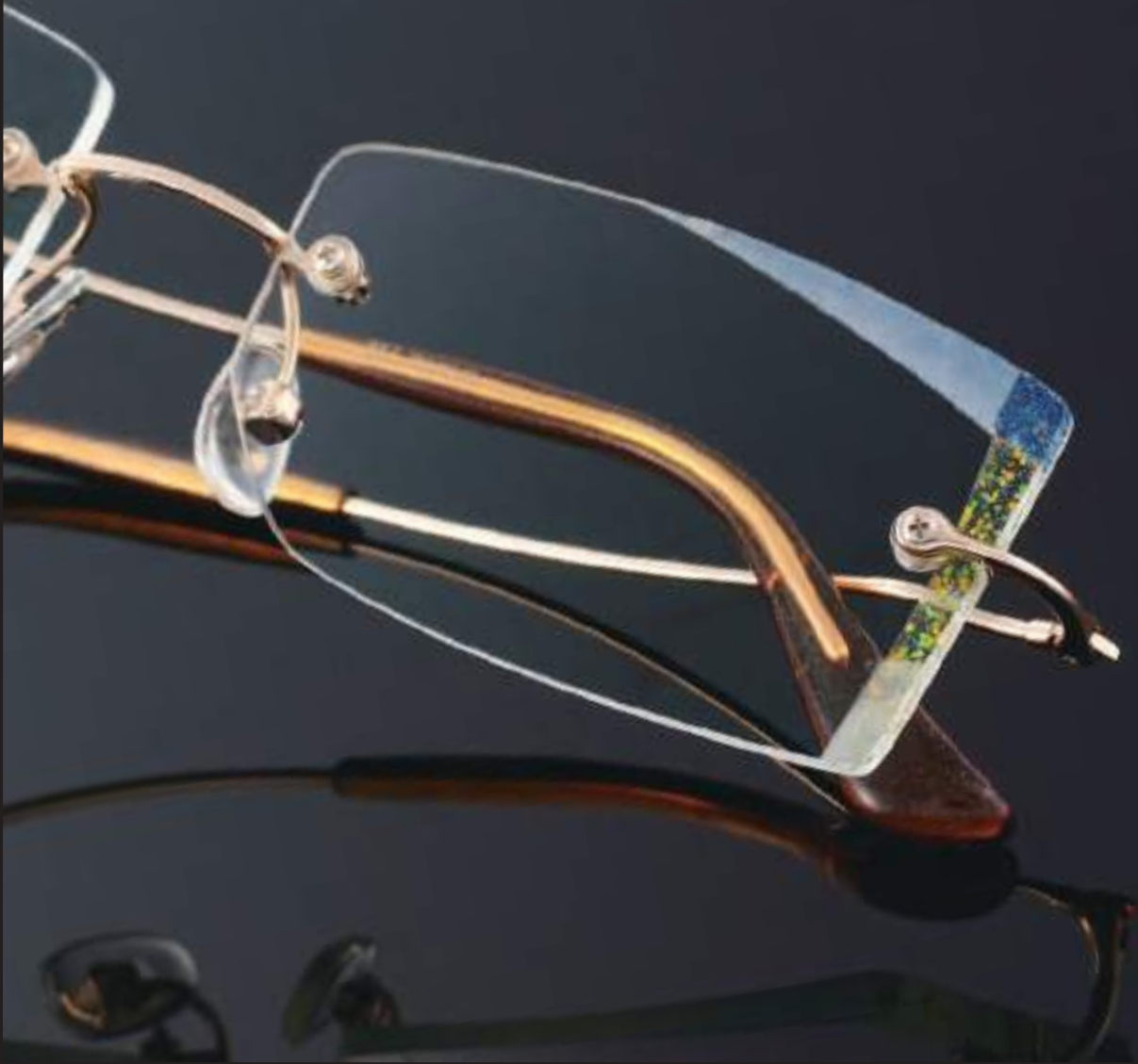
■使用素材／桜花弁螺鈿・ピンクブルーラメ

■ベースフレーム／AU-319(K18BG)

柔道に見る1本へのこだわりや 短い間に美しく咲き散っていく桜は
日本人特有の潔さの象徴でもある。

水面に落ちた花弁は 散ってもなお美しく ゆれる水面に浮かぶ淡い桜色が心に響く。

お花畑（夏）



お花畑【OHANABATAKE】
作品No.2986
■使用素材／緑・金・ブルーラメ
■手法／砂打ち
■ベースフレーム／AU-313(K18BG)

高山帯では 残雪の消えた部分から高山植物が咲き始める とても短い夏の到来です。
シナノキンバイ、ミヤマキンボウゲなどの黄色の花がポピュラーで
所々にハクサンフウロ、ヨツバシオガマ等のピンク色、ミヤマリンドウ、トリカブト等の青色が混ざる。
山頂近くの小石だらけのザラ地に咲く ピンクの駒草は ほんの10cmほどの草丈ですが
育成環境の厳しさゆえの気高さから『アルプスの女王』と呼ばれる。
高山植物はみな厳しい風雪に耐え 何年もかかってやっと夏に花を咲かせることが出来るのだ。

三段紅葉（秋）



三段紅葉【SANDAN KOUYOU】

作品No.2999

■使用素材／緑・赤・金・ブルーラメ

■手法／砂打ち

■ベースフレーム／AU-313(K14WG)

山岳では 10月の初冠雪で朝のうちのみ山頂部に雪が残り山腹にナナカマドの赤紅葉、山麓には深緑という 樹々たちにとって今年最大の大事な仕事が始まる。まさに一期一会のタイミングが 三段紅葉である。紅葉は進むにつれ標高の低い方へ下りていき 高度差により色に変化してゆく。山麓が色づく頃には 山頂部は 厳しい冬に突入する。

彩雲



彩雲【SAIUN】

作品No.2967

■使用素材／転写玉虫箔

■手法／砂打ち

■ベースフレーム／AU-164(K18/K18プルーバー付)

山に入ると 観天望氣と天気図による予測のもとに行動を決定する為
日常よりはるかに空を眺める事が多い。

空は光と影と風と雲の 一瞬たりとも留めておくことの出来ない大きなキャンバスとなり
時にはこの世のものとは思えないような色を見せてくれる。

雲が虹のように淡く輝く彩雲は 古くから吉兆とされ

西方極楽浄土から阿弥陀如来が菩薩を随えて

五色の雲に乗ってやってくるという来迎図にも描かれている。

唐草



唐草【KARAKUSA】

作品No.2956

■使用素材 / アバロニ貝

■手法 / 透かし螺鈿

■ベースフレーム / フレア 764

古代オリエントや古代ギリシャを元に西アジアからシルクロード経由で中国へ、そしてさらに日本に伝来した文様で、蔦草の生命力を発展に結びつけて一種の吉祥文様として良く使われている。終わりのない永遠に続く連続文様は、繁栄を示す文様です。

君影草



君影草【KIMIKAGESOU】

作品No.2932

■使用素材／スワロフスキー

■手法／砂打ち

■ベースフレーム／AU-440HM(K14W)

鈴蘭の別名で蘭と言うがユリ科の花です。

西洋では この花束を贈られた人には幸福が訪れるという。

純潔と謙遜の印として聖母マリアに捧げられ マリアの涙・おとめの花・谷間の姫百合などと呼ばれ
幸福をいっそう喜ばしいものにし 悲しみの時には心を慰める花として多くの人に愛されている。

花言葉は 意識しない美しさ・純粹・幸福の回帰・乙女の祈り などとても美しい。

有毒植物ではあるがゆえに より清く美しく思える。

トライスル



トライスル【TR AISURU】

作品No.2926

■使用素材／白蝶貝・メタリック紙

■手法／透かし螺鈿

■ベースフレーム／AU-421 (K14WM)

ヨットで強風時に風に向かって行く時や
非常事態用に使われる小さな縦帆の事で
人も困難にぶつかった時にこそ 人の値打ちが試される。
嵐に向かって立ち向かう男の象徴です。

オープンハート



オープンハート【OPEN HEART】

作品No.2924

■使用素材 / アバロニ貝・メタリック紙

■手法 / 透かし螺鈿

■ベースフレーム / FE 7008

心とは 知識・感情・意思の総体で人格形成の元であると言われているが
三つのハートは

人に対して開く心・殻に閉じこもらず挑戦する心・物事を受け入れる懐の深い心を表現しています。

あなたの心はいかがでしょう？



麻の葉

かつては 生まれてきた赤ん坊の産着につかわれた模様で
麻は3か月に2メートル以上伸びるのにあやかり 真っ直ぐ大きく成長し
素直な心の持ち主になるようにという 親の願いが込められ
古来から麻は神聖なものとして扱われていた事から
魔除けの模様とも考えられている。



切子(麻の葉)
【KIRIKO-ASANOHA】
作品No.2922
■使用素材 / スワロフスキー
■手法 / 砂打ち・彫刻
■ベースフレーム / L-88-0050

江戸時代末期に生産され始め 矢来・菊・麻の葉模様などの和の文様が
多く用いられたガラス彫刻の切子。

1834年に江戸大伝馬町のビードロ屋、加賀屋久兵衛が彫刻を始めたのが始まりで
久兵衛は日本橋の硝子・眼鏡問屋の加賀屋から暖簾分けをして切子を始めました。
切子は 明治以降に海外からの技術も取り入れて西洋食器として近代化されて行きました。
眼鏡屋から食器へと変化していった切子を 再び眼鏡の装飾に取り入れてみました。



鱗繫(波鱗)

古くからある模様で 古代においては病魔を表すと同時にそれを排除するものとされ、更正の意を示しています。現代では 魔除け、厄除けの柄として使われています。

切子(鱗繫)【KIRIKO-UROKOTSUNAGI】作品No.2903

■手法／砂打ち・彫刻

■ベースフレーム／AU-422(K14W/K18PG)



切子(萬字繫)【KIRIKO-MANJITSUNAGI】
作品No.2909

■手法／砂打ち・彫刻

■ベースフレーム／AU-421(K18/K14W)

萬字繫

萬字文は『光輝く天体』を象徴し 文字通り萬事如意を願う模様です。



ドッグイヤー

本のページの上角を折り曲げてブックマークとするドッグイヤー。プロタイプナイロール等の耳側下レンズに、貝等を三角に挟み込み隠れたその裏のレンズをスライスカットしカット面のみ磨きあげることによって横から見える厚みをカモフラージュする手法。

ドッグイヤー【DOGEAR】

■ベースフレーム／CEAF BOIS CB166



スリット&スライス【SLIT&SLICE】

■ベースフレーム／EDGE042

スリット&スライス

外耳側コバに切れ込みを入れ、貝等や薄い形状のシート等を挟み込み、それによって隠れた裏側をスライスカットしカットした面のみ磨きあげることによって横から見える厚みをカモフラージュする手法。

法橋（燕子花）



ホツキョウ(カキツバタ)【HOTSUKYO】

作品No.2899

■使用素材／屏風シート

■ベースフレーム／AU-349(K18RG)

尾形光琳『燕子花園屏風』



元禄14年(1701年2月)尾形光琳40歳中ごろの時 宮廷から法橋という称号を賜り

その直後に制作された光琳の代表作と言われている『燕子花園屏風』。

金、群青、緑青の3色のみの大胆な図。

青と緑が金に颯爽と映えて美しい。

浪裏（北斎）



浪裏（北斎）【NAMIURA-HOKUSAI】

作品No.2897

■使用素材／転写シート

■ベースフレーム／NK 21-02

葛飾北斎の『富嶽三十六景 神奈川沖浪裏』から印象的な部分を切り取っています。

江戸時代の人で 北斎ほど 後世、西欧の画家、音楽家等の芸術家に多大なる影響を与えた人はいないでしょう。

波頭の表現が特徴的で最も得意としたものだったのは 類稀なる動体視力で 浪の碎ける様を一瞬で捕らえ写実的に見事に表現したところにあります。

衣、食、住という私生活の無頓着ぶりがまた 一つの道を究めた天才の魅力を際立たせています。

土佐龍



土佐龍【TOSARYU】

作品No,2845

■使用素材／土佐和紙(雲竜紙)・純金箔
スワロフスキー

■ベースフレーム／AU-427 (K18CG/K14W)

土佐の高知には龍の付く地名、寺、産物が多い。
龍頭岬、龍王岬、青龍寺、龍河洞、雲竜紙、そして竜馬等です。
土佐和紙の雲竜紙を青海波に切り抜き、
金箔に貼る事で青龍の鱗模様にかけて龍を表現しました。
青海波は、絶え間なく広がってゆく波の力と永続性を
長久の瑞祥として、賞でられています。

恋 蛍



恋蛍【KOIBOTARU】
作品No.2818
■使用素材／スワロフスキー
■手法／砂打ち
■ベースフレーム／NK 21-03 C-03

蛍は 雄が雌の光に誘われ 雌は雄の光に反応して発光します。

また蛍は人間の靈魂の姿であるという伝えは多い。

恋に身を焦がすという歌もあります。

『明け立ては 蟬のをりはへ泣き暮らし 夜は蛍の燃えこそわたれ』古今集

『我が恋は 水に燃え立つ蛍々 物言はで笑止の蛍』閑今集

厳冬期シリーズ



雪紋 (シュカブラ)

強烈な吹雪が収まった早朝、山稜の雪の風紋は朝日を受けて逆光の中に強いコントラストで浮かび上がり、まるでまばゆい光背の中の私の衣文の如く生命感にあふれている。

雪紋【SYUKABURA】 作品No.2813

■手法 / 砂打ち・彫刻

■ベースフレーム / AU-439 (K18PG/K14WG)



凍窓【TOUSOU】 作品No.2841

■手法 / 砂打ち・彫刻

■ベースフレーム / TRACTION SNOB

凍窓

『今日は元旦だ。町の人々は……それなのに、それなのに、なぜ僕はただ一人で呼吸が蒲団に凍るような寒さを忍び、凍った蒲鉾ばかりを食って、歌も唱う気がしないほどの淋しい生活を自ら求めるのだろう。』加藤文太郎『単独行』より

山の冬期小屋では、小屋の中でも凍らないように山靴と水筒を寝袋の中に抱いて眠る。二重窓にはびっしりと霜が付き、春まで溶けることは無い。



ルネッサンス唐草

ヨーロッパ系唐草の主流で 元はエジプトからベルシャの流れとギリシャからキリスト教美術の流れの二つがローマで合流しロマネスク、ゴシック、ルネッサンスへと変化して来ました。

ルネッサンス唐草【RENAISSANCE-KARAKUSA】作品No.2805

■手法／砂打ち

■ベースフレーム／WAZA 1138



花唐草

唐草模様は永遠に続くという意味があり古来から使われてきた模様です。多くを望まずただ一輪だけの花を配し咲かせる。その花は高貴でより美しい。あなた自身なのです。美しさが永遠に続くようにと願いを込めて。

花唐草【HANA-KARAKUSA】作品No.2867

■使用素材／スワロフスキー

■手法／砂打ち

■ベースフレーム／orgreen DEFENDER



蔓唐草

過去から未来まで変わらぬ寿福の連続を意味する文様で四方八方に途切れなく続く縁起ものであり魔除けの意味も併せ持つ吉祥紋です。

蔓唐草【TSURU-KARAKUSA】作品No.2807

■手法／砂打ち

■ベースフレーム／ete SAHUNE MALABAR



夜窓

『おびただしネオンサインが明滅し、新宿の空は赤くただれている。
いつも山から帰って来て東京の夜景を眼にした時感ずる戸惑いに似た気持ちが…
暫く山の静けさの中に浸っていた精神が、再び都会の喧騒の中に引き戻される
時の、それは一種の身もたえのようなものだ。』

井上靖著『氷壁』より

夜窓【YASOU】作品No.2865

■手法／砂打ち・彫刻

■ベースフレーム／TRACTION SALOME



r90-30クロス

山頂によく見られる三角点は日本の『幾何』の原点です。
元来、古代オリエントに於ける 氾濫河川である
ナイルの土地測量の手法として起こり古代ギリシャで進歩しました。
もともと『geometry』の『geo』が中国で『幾何』チーホーと発音されて後、
日本に伝わってきたのです。
Rは 半径(radius)をあらわします。

r90-30クロス 作品No.2861

■使用素材／スワロフスキー ■手法／砂打ち

■ベースフレーム／MODERATO MD-15



舷窓

船の窓を表現したものです。
小さな大小様々な窓は 全て水平についています。
シンプルなデザインの中に 遊び心を盛り込んで…。

舷窓【GENSOU】作品No.2846

■手法／砂打ち

■ベースフレーム／Cartier Lanark



チェッカーフラグ

カーレースでゴールと同時にレースの終了を示す黒と白の市松模様のフラッグです。日本ではさらにさかのぼり1741年 佐野川市松の袴の模様に使われた事から市松模様と言われるようになりました。フラッグの翻る様を表現しました。

チェッカーフラグ【CHECKER-FLAG】

作品No.2880

■手法 / 砂打ち

■ベースフレーム / PARASITE GOLGOT



ル・マン【Le Mans】

作品No.2889

■手法 / 砂打ち

■ベースフレーム / MAYBACH HEDONISTII

ル・マン

モナコグランプリ、インディ500と並ぶ世界3大レースのひとつでフランスのルマン近郊で行われるカーレース。

24時間に全長13Kmを越える周回コースのどれだけの距離を走れるかを競う耐久レースです。優勝数は ボルシェが一位で16回、日本車は マツダが1回のみです。



酔紋（市松）

市松模様は 別名「石畳模様」と呼ばれ 脳が騙されてしまうほど錯覚の世界を表現するのに最も適しています。酔って千鳥足で石畳をふらりふらりと歩く。石畳がダブって見える。 段差も分からなくなる。ちょっと飲みすぎたかな。

酔紋【SUIMON】作品No.2825

■手法／砂打ち

■ベースフレーム／PARASITE VEGA 01



酔鱗【SUIRIN】作品No.2814

■手法／砂打ち

■ベースフレーム／BLAC STEWART

酔鱗（鱗繫）

オプティカル・イリュージョンシリーズ（鱗繫模様のイリュージョン）

どちらの模様も角度によって変化して見えます。



龍虎

中国では帝を龍にたとえ 勇猛な姿を 猛虎、竹虎、龍虎として描きました。
龍虎は威力の象徴とされ
『雲は龍に従い、風は虎に従う 聖人作りて万物現る。』と
風雲の気を 龍虎であらわしました。

龍虎【RYUKO】作品No.2812

■手法／砂打ち

■ベースフレーム／RAYBAN AU 8643K



月うさぎ【TSUKIUSAGI】作品No.2821

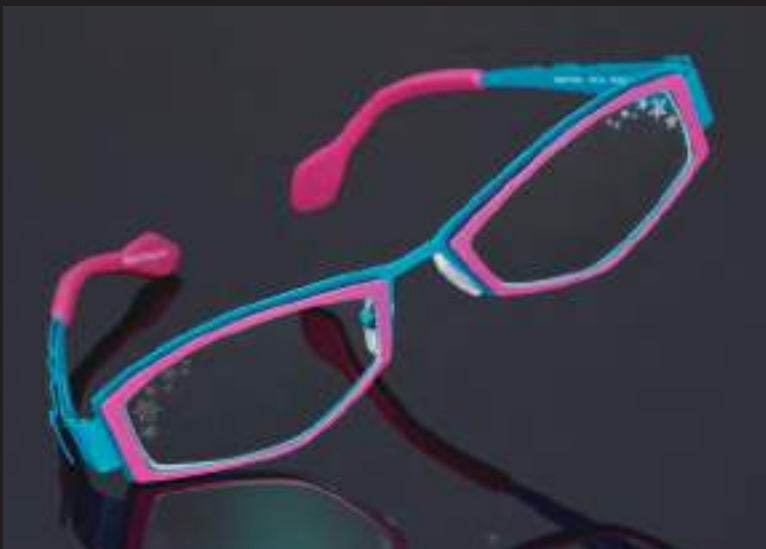
■手法／砂打ち・彫刻

■ベースフレーム／FLAIR 869

月うさぎ

インドの古語であるサンスクリットでは 月の一名を『ウサギ』と言うそうです。
古代中国では月で兎が不死の薬を搗くと考えられていましたが
それが日本に伝わり 餅を搗くと変化したと考えられています。

聖夜



聖夜【SEIYA】

作品No.2829

■手法／砂打ち・彫刻

■ベースフレーム／TRACTION SANTONIA

クリスマスは星空と雪のイメージですが
雪が降り止み星がきらめく 静かな夜がもっとも神聖な気がします。
降り止んですぐが静かで一番好きです。



フラワートライバル

花を唐草調にアレンジしたトライバル柄。
花弁についた露を スワロフスキーで表現し 華やかさを出しました。

フラワートライバル【FLOWER-TRIBAL】

作品No.2872

■使用素材 / スワロフスキー

■手法 / 砂打ち

■ベースフレーム / DARIO MARTINI 153



ロングトライバル【LONG-TRIBAL】

作品No.2857

■手法 / 砂打ち・彫刻

■ベースフレーム / Holemans H-53

ロングトライバル

ハートのトライバル模様
のロングバージョンです。



舞桜

桜は日本の心の花です。春の花と思いがちではありますが、冬桜もあるので。また南北に長い日本で咲く時期は、南と北では5ヶ月以上差があります。つまり年の半分はどこかで咲いている事になります。年間を通じて使用できる柄です。

舞桜【MAIZAKURA】作品No.2840

■使用素材／スワロフスキー

■手法／砂打ち

■ベースフレーム／NK 21-03 C-14



春秋【SYUNJYU】作品No.2819

■使用素材／スワロフスキー

■手法／砂打ち

■ベースフレーム／TRACTION SAMPDORIA

春秋

春秋とは春・夏・秋・冬の中の春と秋をとって『年』を表現したものとされています。日本の四季を感じる一番良い季節なのです。紅葉にも春紅葉と秋紅葉があります。春紅葉は新芽を紫外線から守るために赤く染まるのです。紅葉の潜入観からかあまり春の紅葉については意識されていないようです。



潮騒

海の色のようなアバロニ貝、海の輝きの様なシルバーラメ、
カットは波のさざめきを表しています。

潮止まりの音の事を潮騒と言い、三島由紀夫は 三重県鳥羽の神鳥を小説『潮騒』の
舞台にしました。 島を訪れた三島は川端康成宛に『「よごれた」ものは何ともありません。
このまま僕まで浄化されて、ここには本当の人間の生活がありそうです。』と手紙を
書きました。

潮騒【SHIOSAI】

作品No.2769

■使用素材 / アバロニ貝

■手法 / 溝ラメ・ファセット

■ベースフレーム / ジュンコ・オオウチ JO-1049



トライスルⅡ【TRAISURU-II】

作品No.2760

■使用素材 / 白蝶貝・ラメ

■ベースフレーム / traction fiorella noirblanc

トライスルⅡ

ヨットで強風時に風に向かって行く時や非常事態用に使われる小さな縦帆の事で
人も困難にぶつかった時にこそ 人の値打ちが試される。
嵐に向かって立ち向かう男の象徴です。

撫子日本

2004年より女子サッカー日本代表の愛称として用いられています。
撫子は江戸末期以降「伊勢撫子」と「トコナツ」の2つの品種の流れがありましたが今は一部の品種のみが今日の園芸品種の元となっています。
撫子ジャパンは 大和撫子から来ていて これは日本在来種であるカワラナデシコの別名で花言葉も女性的なものが多いです。
高山においてもタカネナデシコは めったに見当たりません。

撫子日本【NADESHIKO-JAPAN】
作品No.2767
■使用素材／スワロフスキー
■手法／砂打ち
■ベースフレーム／PARASITE MONODROIDE2



八咫鳥【YATAGARASU】作品No.2734
■手法／砂打ち
■ベースフレーム／PARASITE MONODROIDE2

八咫鳥

日本神話で神武東征の際 神武天皇を熊野国から大和国まで道案内をしたとされる霊獣で 太陽の化身と考えられ太陽に棲むと言われていました。
サッカーのシンボルに使われているのは 日本に初めて近代サッカーを紹介した中村覚之助に敬意を表し 出身地の那智勝浦町の那智大社の牛主宝印に用いられている八咫鳥から引用したからです。



雪月花

雪月花は 白楽天の詩の1句として読まれたのが始めて日本では万葉集に
大伴家持の和歌に詠まれたのがはじまりです。雪、月、花(桜、梅)など自然の景物、
そしてその景物をめぐる風流を示す語句とし現代まで使われています。
江戸小紋は 派手な大柄は贅沢品として規制を加えられていた頃
遠目には無地に見えるように細かい柄を入れたのが小紋の始まりです。

雪月花【SETSUGETSUKA】作品No.2779
■使用素材／抜きメタリック紙
■手法／ハサミ込み
■ベースフレーム／NK 21-04



花リボン

社会運動や社会問題に対する支援や賛同の声明を表す方法として
リボンがよく用いられ 色によって様々なシンボルになっています。
リボンの花が1輪リボンからぬけ出て遊んでいます。

花リボン【HANARIBON】
作品No.2778
■使用素材／リボン
■手法／砂打ち・ファセット・挟み込み
■ベースフレーム／AU-431 K18PG



風朝貌

現代の『朝顔』は奈良時代末期～平安時代に日本に伝来したとされています。
遣唐使が中国から薬用として持ち帰ったともいわれています。
万葉の時代には『朝貌』と呼ばれているのは現在の『桔梗』の事です。

風朝貌【KAZEASAGAO】

作品No.2755

■使用素材 / スワロフスキー

■手法 / 砂打ち

■ベースフレーム / ラインアートXL-1024 K14WG



氷割梅【HIWAREUME】

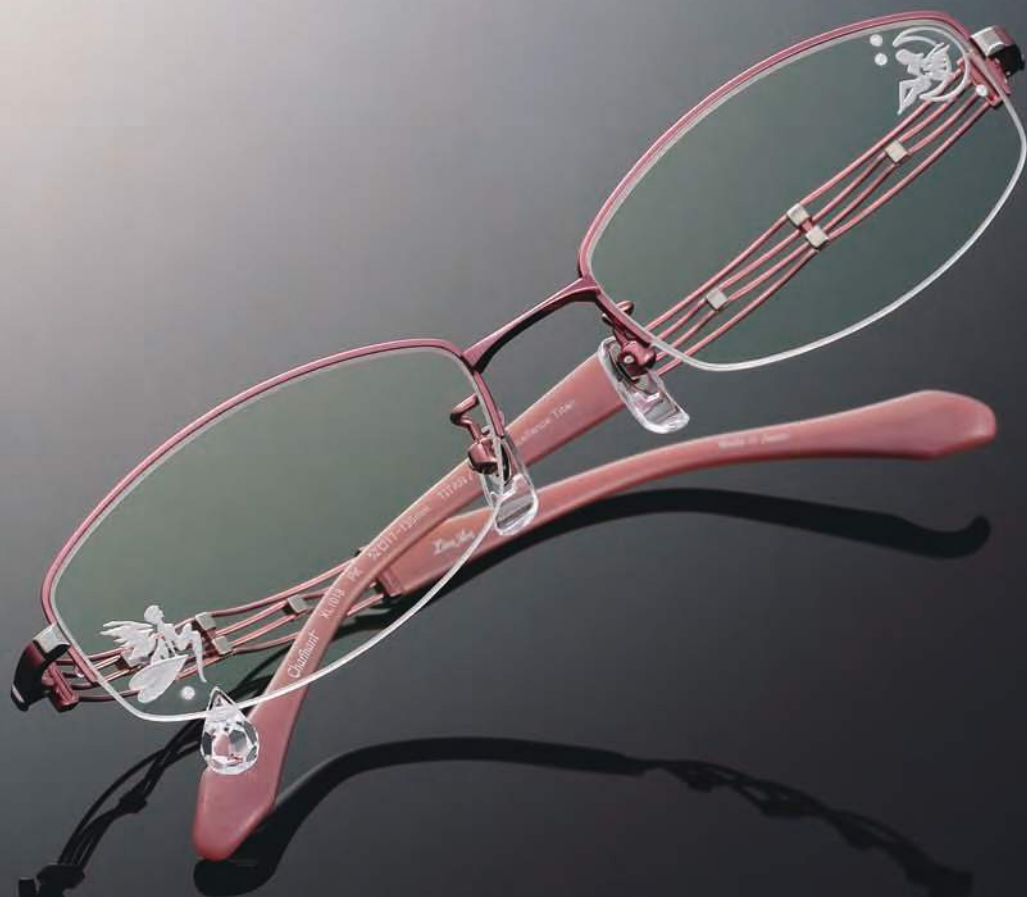
作品No.2752

■手法 / 彫刻・砂打ち

■ベースフレーム / AU-500 PK/K18PG

氷割梅

日本の古典模様の氷割れ模様を 枝に見たてて 梅の花を配したデザインです。



妖精の涙

妖精は 親切にされると大きな返礼をし 邪険にされると手ひどい仕返しをすると言われていて、海、川、泉、森、丘等 自然界の精です。人間による自然破壊や地球温暖化により世界各地の異常気象や大災害が発生しているのは妖精の怒りの表現なのかも知れません。そして、きずついた地球を癒すために妖精は癒しの涙の雫を零しているのです。涙が枯れるまで…。

妖精の涙【YOSEINONAMIDA】

作品No.2864

■使用素材 / スワロフスキー

■手法 / 砂打ち

■ベースフレーム / ラインアート XL-1018PK



蝶唐草

繁栄が永遠に続くという意味の唐草に 長寿を意味する蝶が留まっています。和服や焼き物などに良く用いられているモチーフで縁起の良い吉祥模様です。

蝶唐草【CHOUKARAKUSA】

作品No.2764

■使用素材 / スワロフスキー

■手法 / 砂打ち

■ベースフレーム / ete EPINE VIOLETTO



月光夜曲

酒井抱一は光琳を隔世の師匠と仰ぎ 光琳の『風神雷神図屏風』の裏面に『夏秋草図屏風』を描き 光琳の金箔の太陽に対して銀箔の月光を現し 雷神に対して雨に打たれる夏草、風神に対して風に吹かれる秋草を表現。光琳の内向き構図に対して外向き構図で光琳への敬慕を表しました。白蝶貝、青貝で月光を表現してみました。

月光夜曲【Moonlight Serenade】

作品No.2798

■手法／白蝶貝、青貝抜き・ホログラム

■ベースフレーム／NK 21-04



遊星【YUSEI】

作品No.2763

■使用素材／スワロフスキー

■手法／・砂打ち

■ベースフレーム／AU-471

遊星

「PLANET」は本来 「遊星」とか「惑星」と呼ばれていましたが 現在では殆ど「惑星」と呼ばれています。

夜空を遊び飛ぶ流れ星の軌跡でメルヘンな夜を表現するには「遊星」の方が遊び心があるネーミングで ビッターリです。

四神シリーズ



玄武



青龍



朱雀



白虎

玄武青龍・朱雀白虎

四神とは 天の四方の方角を司る霊獣で 東 青龍、西 白虎、南 朱雀、北 玄武 の事でそれぞれ司る季節と象徴する色は 青龍は春と青、白虎は 秋と白、朱雀は 夏と赤、玄武は 冬と黒のイメージです。会津藩の軍構成に使われ、詩人 北原白秋の号は これに由来しています。

玄武青龍・朱雀白虎

【GENBUSEIRYU・SUZAKUBYAKKO】

作品No.2726・2730

■手法／・砂打ち

■ベースフレーム／SP EXTREMS・ラインアートXL-1041 GR



薔薇の雫

トライバルな薔薇の茎に露が光るイメージです。

- 薔薇の雫【BARANOSHIZUKU】
作品No.2802
■使用素材／スワロフスキー
■手法／砂打ち
■ベースフレーム／Rose Rosa RF-011



石垣薔薇

薔薇園は良く城跡の公園内に良く見られますが
福島県の白河薔薇園は白河 小峰城帯曲輪にあります。
5～6月になると城壁の周囲にたくさんの薔薇が花を咲かせます。

- 石垣薔薇【ISHIGAKIBARA】作品No.2728
■手法／砂打ち
■ベースフレーム／麗人花009



薔薇唐草

ハイブリッドT系の薔薇の唐草模様。
薔薇の花言葉は 色によって様々な意味があります。

- 薔薇唐草【BARAKARAKUSA】作品No.2803
■手法／砂打ち
■ベースフレーム／orgreen pussycat



月人壮士

月神を若い男に見立てているとか、牽牛の事とか言われていますが、万葉集に『夕星も 通う天道を いつまでか 仰ぎて待たむ 月人壮士』柿本人麻呂作等とか、『秋風の 清き夕に 天の川 舟漕ぎ渡る 月人壮士』とか、壮大な天空を表現し、月を擬人化して良く歌われています。万葉の頃、夜空はもっと暗く、星や月が、きっと神聖に見えた事でしょう。

月人壮士【TSUKIHITOOTOKO】

作品No.2733

■手法／型抜き・砂打ち(弱度のみ可)

■ベースフレーム／AU-500 PK/K18PG



賀留多【KARUTA】

作品No.2725

■手法／型抜き・砂打ち(弱度のみ可)

■ベースフレーム／ラインアートXL-1041 BR

賀留多

トランプは、16世紀頃、日本に入って来たと考えられています。元々、ギリシャ語で「カルテ」が「カード」や「カルタ」の語源になっています。トランプは『切り札』を意味し、柄はスーツと言い当初は、騎士(剣)、僧職(聖杯)、農民(棍棒)、商人(貨幣)を表現したりしていましたが、それが変化していきフランスで現在の「スペード、ハート、クラブ、ダイヤ」になりました。日本ではポルトガル語のカルタがそのまま日本語になり漢字で「賀留多、歌留多、紙牌」と書かれました。



蘭

蘭は 観賞価値の高い物が多く 栽培や品種改良が進められています。大きくは 洋蘭、東洋蘭、野生蘭とに分けて呼ばれ 特に野生蘭の乱獲は世界的問題となり ワシントン条約で規制されています。

蘭【RAN】

■手法／型抜き

■ベースフレーム／AU-149D



スリーハート【THREE HEART】

■手法／型抜き

■ベースフレーム／AU-288PG

スリーハート

小さなハートを3つ並べて

人の心の働きは 本能心、理性心、霊性心とに分類されるとか 精進料理を作るのに忘れてはならない三つの心『喜心』『老心』『大心』等 色々な事柄の精神を 三つの心として表現されています。 さて、あなたの三つの心は？

襲シリーズ



流水襲【RYUSUIKASANE】

- 手法／三色絹糸 3つ編み 挟み込み
- ベースフレーム／AU-336 K14WG/K14GN



桜襲【SAKURAKASANE】

- 手法／三色絹糸 3つ編み 挟み込み
- ベースフレーム／AU-336 K14WG/K14GN



杜若襲【KAKITSUBATAKASANE】

- 手法／三色絹糸 3つ編み 挟み込み
- ベースフレーム／AU-439 K18PG/K14WG



紅葉襲【MOMIJIKASANE】

- 手法／三色絹糸 3つ編み 挟み込み
- ベースフレーム／AU-331 K18PG

襲【KASANE】シリーズ

平安時代の『十二単』は唐衣、表着、五衣、単、裳、袴の重ね着で四季折々の季節感を表し樹木や草花の色を襲色目として採用しています。

襲色目は四季の中でも色目の多様な春と秋にバリエーションが多く夏と冬は少ない、日本古来の伝統色によるカラーコーディネートです。

山紫水明



山紫水明【SANSHISUIMEI】

■手法 / 砂打ち・スワロフスキー

■ベースフレーム / AU-285 K18D

山は紫にかすみ川は澄みきって美しい。山の木々が清い水を作り、その水が集まって美しい川になる。その川は養分を海に運び海産物の豊富な海を育みます。大自然は複雑な因果関係で成り立っています。何事も源が大切なのでしよう。



泊蝶唐草【HAKUTYOUKARAKUSA】

■手法／砂打ち・彫刻・パール粉

■ベースフレーム／ete CAVAILLON MANDARINO

吉祥文様の唐草に蝶が2匹泊まっている様子を表現しています。蝶は自由な精神、生命力、復活などの象徴として広くモチーフとして使われてきました。



裏彫唐草【URABORIKARAKUSA】

■手法／彫刻 コバ厚必要

■ベースフレーム／FLAIR 787 c-317

レンズ裏面のカット部分に吉祥模様の唐草を彫刻することで彫刻に立体感が出てレンズ厚も薄く見せる事が出来ます。レンズ厚のマイナスをデザインとしてプラスに転化させた加工手法の一つです。



胡蝶【KOTYOU】

まさに蝶の別名で古くから舞楽にモチーフとして用いられています。



忍冬【SUIKAZURA】

白い花が徐々に黄色くなります。1つの枝に白花と黄花が咲いている事もある為、金銀花とも呼ばれます。薬としても利用され花の蜜は砂糖の代わりに用いられ古くは花を啜って蜜を吸われていた為にスイカズラと言われ常緑で冬を通して落葉しない為、忍冬と記されるようになりました。

※当シリーズのフレームはアート専用の受注生産フレームです。



霞桜【KASUMIZAKURA】

霞桜は桜の野生種の一つで山桜より標高の高い位置に生えています。遠くから見たこの樹の様子が霞のように見えることから、そのように呼ばれています。



輪弧 赤【RINKO AKA】

竹工芸によく使われる編方で放射状に広がる美しい編方で阿弥陀光編とも呼ばれています。



深山桜【MIYAMAZAKURA】

深山にはえ晩春、葉より少し遅れて白花を咲かせるので薄緑っぽく見えます。「青葉まじりにみずみずしく咲く深山桜」明治天皇



鼈甲手 揚羽蝶 沈金

※当シリーズのフレームはアート専用の受注生産フレームです。



橘【TACHIBANA】

柑橘類の一つで松と同様に常緑が「永遠」を喻えると喜ばれ家紋や勲章のデザインに用いられています。



輪弧 紺【RINKO KONN】

竹工芸によく使われる編方で放射状に広がる美しい編方で阿弥陀光編とも呼ばれています。

※当シリーズのフレームはアート専用の受注生産フレームです。



花菖蒲【HANASYOUBU】

カキツバタ、アヤメ、菖蒲の見分け方は難しいが菖蒲は葉の中央の葉脈が隆起しています。梅雨の頃、雌蕊をすくと立たせ三日間だけ花を咲かせ刻々と変化する様から武士道精神の象徴として愛されて来ました。



黄金葛【OUGONKAZURA】

ポトスの和名でソロモン諸島原産。明治中期に渡来した観葉植物で金色の斑が入っている事から黄金葛と呼ばれています。



奇跡【KISEKI】

青い薔薇の花言葉が「奇跡」で青薔薇は品種改良で作る事は不可能な為、遺伝子組み換えによって完成されました。



鼈甲手

※当シリーズのフレームはアート専用の受注生産フレームです。

テンプル彫刻



テンプル部分にお好きなデザイン・言葉を刻み込む。自由な発想、豊かな表現力でメガネの可能性はさらに広がります。